

令和6年度 質問調査結果と取組（全国学力・学習状況調査／広島県児童生徒学習意識等調査）

呉市立宮原小学校

1 全国学力・学習状況調査及び広島県児童生徒学習意識等調査の質問調査の結果分析と今後の取組等

内容	調査(番号)	肯定的な回答をした児童の割合(%)						具体的な取組及び検証
		年度末		自校	広島県	全国		
		目標	結果					
生活・学習 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	全国学力・学習状況調査(39)	78.2	90.6	47.8	83.7	84.2	・学級会では、話し合いの型を用いながら、児童が自分たちで話し合いを進め、学級の課題を解決する経験を積ませる。 ・授業では、話し合いで考えを交流する場を設ける。自分の考えを書く時間を確保し、一人一人が主体的に話し合いに参加できるようにする。 ・検証 アンケート第5・6学年 2月	
国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか。 国語の勉強は好きです。	全国学力・学習状況調査(47) 広島県児童生徒学習意識状況調査	78.2 76.1	88.3 72.0	69.5 57.1	80.4 66.7	80.0 -	・単元でつけなければならない力を明確にし、言語活動に生かす指導を充実させる。 ・スキルタイム等を活用して基礎・基本の定着を図る。 ・検証 アンケート第5・6学年 2月	
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えていますか。 算数の勉強は好きです。	全国学力・学習状況調査(55) 広島県児童生徒学習意識状況調査	78.2 76.1	83.7 60.4	67.2 47.6	84.4 63.9	83.3 -	・単元でつけなければならない力を意識した適用問題を準備し、既習事項を活用して解かせる活動を実践に行う。 ・授業では、ICTやホワイトボード等を活用し、児童が互いの説明を聞き合い、質問したり、自分の考えと比較したりすることで、考えを深めることができる場を設定する。 ・スキルタイム等を活用して基礎・基本(既習事項)の定着を図る。 ・検証 アンケート第5・6学年 2月	

2 呉市教育振興基本計画(指標)における分析と今後の取組等(呉市教育振興基本計画P.10, 11, 23)

内容	調査(番号)	肯定的な回答をした児童の割合(%)				
		R8指標	自校(指標との差)	呉市(指標との差)	広島県	全国
将来の夢や目標を持っている	全国学力・学習状況調査(11)	90.0	82.6(-7.4)	88.2(-1.8)	82.8	82.4
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある (R6:地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。)	全国学力・学習状況調査(25)	90.0	65.2(-24.8)	89.2(-0.8)	84.9	83.5
自分には、よいところがあると思っている	全国学力・学習状況調査(9)	85.0	56.5(-28.5)	86.7(+1.7)	85.1	84.1
学校に行くのは楽しいと思う	全国学力・学習状況調査(16)	90.0	78.2(-11.8)	86.3(-3.7)	85.1	84.8
1か月の間に本を1冊も読んでいない	広島県児童生徒学習意識等調査(51)①	2.0%以下	23.8(-21.8)	11.3(-9.3)	13.5	
興味・関心があることや学習に関する内容を、本や資料を活用して調べている	広島県児童生徒学習意識等調査(39)	70.0	52.4(-17.6)	74.9(+4.9)	69.6	
本を読んで、知りたいことが分かったり、自分の考えを広げたりすることがある	広島県児童生徒学習意識等調査(38)	80.0	66.7(-13.3)	82.3(+2.3)	78.8	
自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合うことができる	呉市独自アンケート	80.0	()	()		



学校全体で、重点的に取り組む内容	自分には、よいところがあると思っている ※自分にはよいところがある 児童生徒学習意識等調査自校 71.4(-9.2) 校内児童アンケート調査 81.0	全国学力・学習状況調査(9)
具体的な取組	行事や縦割り班活動などでの異学年交流を通して、高学年が学校のために活動していることを評価する場を仕組む。よいところ見つけの活動を校内全体で定着させ、他者を認める素地を作る。教職員が児童の頑張っているところをほめたり、声掛けをしたりする。	